

気候変動対策に関連する公開質問状

6月21日現在立候補を表明しているすべての方々へお送りしています。

(※その後に表示していた方には随時お送りしています)

選挙活動でお忙しい中とは存じますが、28日までに回答をお願いします。

いただいた回答は、当法人ホームページおよび当プロジェクトが運営する SNS アカウントやニュース発行などで共有し、争点を明確にして有権者が選びやすくするために活かします。

気候変動に対応するあなたの政策は(複数選択可)

①明治神宮外苑の樹木伐採中止→神宮外苑には「なんじゃもんじゃの木」など江戸時代以来の希少な巨木などが群生しており、伐採をせずに施設を現地再生するよう働きかけます。

②ヒートアイランド現象の改善→東京湾からの海風を遮る臨海部や都心の高層ビルを厳しく規制。

街路樹や公園などの樹木で都市を覆う“樹冠被覆率”の目標を設定、クールスポット(水辺など)や樹陰を増やし都市を冷やす。

③「2030年カーボンハーフ」に向けた新たなとりくみ→党として6・18に「東京2030 60%脱炭素実行プラン」ver.1.0を発表し、文字通り温室効果ガス60%削減を提案し、以下の政策を発表しました。

1. 石炭火力発電、原発と決別。東電など大企業の削減義務をレベルアップ、再エネ・省エネの本格普及を進める。

2. 開発を規制し公園と樹木・緑が覆う生物多様性の東京をめざす。

3. 地域経済振興をセットで進め、地元の中小企業の仕事を増やす。

4. 気候対策の市民会議を設置、公共交通の電動バス等を充実させシルバーパスを拡充。

④都内で予定されている多数の大規模再開発事業の一括見直し→住民合意の視点で見直す。

⑤プラスチック削減→これまでの清掃工場での焼却処分をゼロにし、“3R”を徹底する。

⑥消費電力量の削減→②項でお答えした「60%脱炭素実行プラン」で、消費電力削減に向け身近な相談窓口を設け、個人や中小零細業者などの省エネ電力化やLED照明などを支援し、全体で60%の脱炭素となるよう取り組みます。

⑦再エネ電力へパワーシフト→太陽光パネルを新築と共に既存住宅の設置や分譲マンションなど集合住宅、賃貸アパートへの設置を支援。ペロブスカイトなど使いやすいパネルの開発普及など、石炭火力と原発に依存する発電量を再エネで置き換えていきます。

⑧緑化政策に力を入れる→緑の量と共に質を重視。CO₂吸収の多い樹林の保全・拡大へ保全地域指定・公有化と開発規制を進め、生物多様性の宝庫、高尾山や野鳥公園、小金井市の「はげ」等を守る。

⑨都有施設のZEB化→すすめる。

⑩ 都が管轄する全車両をZEV化→都営バス等大型車両のZEV化を一気に進める。

⑪ 公共交通機関や徒歩・自転車で移動等が完結する都市設計

⑫ 新築住宅の熱効率改善→鳥取県や欧米をモデルに新築と既存住宅の省エネ化を財政的に支援。

⑬ 団地の供給電源を自然エネルギーへ転換→都営団地の再エネ・省エネ化を急速に促進する。

⑭ 公共コンポストの設置→すすめる。

⑮ その他→中小零細企業の再エネ・省エネの取り組みを支援し、商店街などが省エネ・再エネ機器を共同購入する際に思い切った支援をします。都の研究所を再エネ技術開発に積極的に活用します。

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、返信は以下までお願いします。

東京はくと医療生活協同組合 気候変動対策プロジェクト(T-CAP)

メール:soshikihokuto@gmail.com

FAX: (03) 3912-9333